

修士課程の概要

コース案内／各種インフォメーション

コース案内

社会の多様なニーズに対応した目的別のコース制による融合教育を行っています。

医科学コース

医学・生命科学領域の幅広い知識を持って活躍できる高度専門職業人の育成を目的とするコース

全コース必修共通コア科目に加えて、医学研究に必要な知識や技術を演習形式で学ぶ基本医学研究法と、口頭発表および論文作成の技術を修得する研究発表技法を履修します。さらに基本医学総論および基本医学研究により、高度専門職業人として必要な幅広い医学知識を修得します。

公衆衛生学コース

2年コース
社会全体ならびに人々の健康と生活、安全の維持・向上のために、公衆衛生上の諸課題に対し、幅広い知識と高い技能を持って活躍する人材の育成を目的とするコース

米国の公衆衛生教育協会の認定基準に準拠した「疫学」「生物統計学」「社会行動科学」「保健医療管理学」「環境保健学」の5領域の基礎科目を必修科目とし、さらに各自の関心にあった選択科目を組み合わせることで、公衆衛生学の専門家として求められる能力を修得します。

1年コース
一定の実務経験を有する医師・歯科医師・薬剤師などを対象として、医療・公衆衛生領域で活躍できる高度専門職業人を1年で育成することを目的とするコース

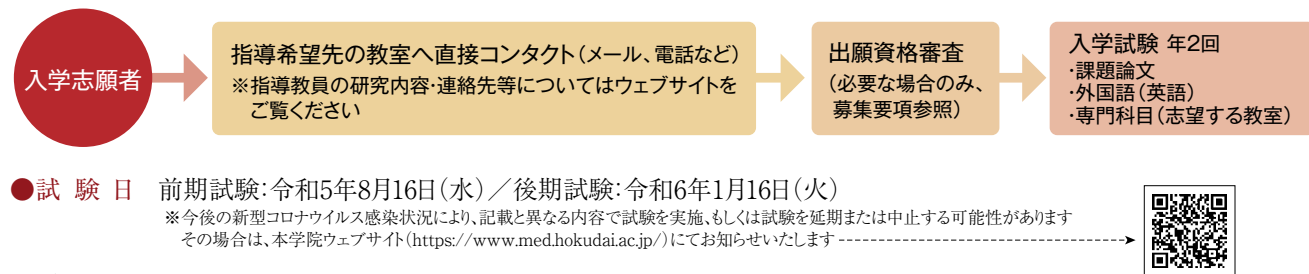
2年コースと同様の学修を1年で行います。修士論文または特定の課題についての研究の成果に関する審査および試験に合格することにより修了することが可能です。

修士課程に入るには

入試について

- 募集人員 医科学専攻20名
- 出願資格 学士の学位を有する方等(公衆衛生学コース(1年コース)のみ医師・歯科医師等の実務経験が2年以上の方)
- 出願期間 前期試験:令和5年7月4日(火)から令和5年7月7日(金)まで
後期試験:令和5年11月24日(金)から令和5年11月28日(火)まで
受付時間:午前9時から午後5時まで。出願期間内必着のこと

入試・選考の概要



諸費用

●入学検定料*:30,000円 ●入学科*:282,000円 ●授業料*:535,800円(年額) (入学科、授業料は予定額です)

*国費外国人留学生(文部科学省奨学金受給者)は不要です。願書提出の際、必ずその旨を申し出てください

◎詳細は大学院学生募集要項で確認してください

長期履修制度(修士課程を3年または4年で修了する制度。公衆衛生学コース(1年コース)へ入学した方は、申請できません)

学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限(2年)を超える期間にわたり計画的に教育課程を履修したい旨を入学前に申請し、許可された場合、約2年間の授業料で最大4年間まで在学できる制度を設けています。

修了要件

- ①修士論文または特定の課題の研究成果(公衆衛生学コース(1年コース)のみ)に関する審査、試験に合格すること
- ②所定の単位30単位以上の修得

MESSAGE コース在籍者からのメッセージ

新たながん免疫療法開発への挑戦

医科学コース／免疫生物学教室(令和4年度入学)

丹治 雅文(たんじ まさふみ)

学部時代は他大学で、異なる分野の研究を行っていましたが、免疫学的なアプローチに基づくがん治療法やがんワクチンの開発に興味を持ち、免疫生物分野に進学しました。大学院では最新の技術や発見に触れることができ、先生やラボのメンバーとのディスカッションや研究発表を通じて学術的な視野を広げ、新たな知見を得ることができます。現在私は、がん細胞を丸ごと用いた全がん細胞ワクチンの実用化を目指して、日々充実した研究生活を送っています。がん治療分野には多くの未解決の課題がありますが、新しい治療法や予防法の開発につながる成果を生み出したいと考えています。



医学に正確なエビデンスを

公衆衛生学コース(2年コース)／医学統計学教室(令和4年度入学)

大倉 裕希(おおくら ひろき)

幼い頃からの医学やデータサイエンスへの関心に加え、新型コロナウイルスの拡大を目にしたことで、医学に対してデータに基づくエビデンスを示すことに大きな意義を感じました。そこで、数学科から進路を変更し、医学院に進学することを決めました。私自身は現在、シミュレーションを通じた新たな統計解析手法の開発を行っています。医学統計学は、統計学・医学の両方に対する深い知見が求められることが難しくもあり、同時にやりがいを感じる学問です。日々の研究を通して、データからこれまで見逃されてきた特徴を新たに見出し、臨床の現場により正確なエビデンスを提供できればと思っています。



MESSAGE コース修了者からのメッセージ

ママ大学院生奮闘記!

公衆衛生学コース(1年コース)／ヘルスデータサイエンス教室(令和2年度入学) 医師

能代 朋美(のしろ ともみ)

私は初期臨床研修終了後、産婦人科医として働き、二児の母となりました。我が子の目覚ましい成長を目の当たりにし、「私も何か新しいことにチャレンジして、成長したい」と思い、以前から予防医学に興味があったので、公衆衛生学1年コースへ入学しました。大学院、子育て、仕事と怒涛の一年間でしたが、学べる喜びを感じ、充実した日々でした。家族のサポートなしには乗り切れなかったのも、とても感謝しています。

大学院卒業後は産婦人科医として総合病院に勤務し、学校で性教育を行う機会にも恵まれました。現在は第三子出産後の育児休業中ですが、今後も産婦人科医として予防医療に携わりたいと考えています。



顕彰・奨学金制度等について

顕彰制度

●医学院

優秀論文賞

優れた論文を発表した学生に優秀論文賞および副賞(10万円相当)を授与します。

高桑榮松奨学金

優れた業績をあげた若手研究者(大学院生を含む)に対する奨励賞(8~10万円(3~4名))を授与します。

奨学金制度

●医学院

音羽博次奨学金

学業・人物ともに優秀な学生および外国人留学生に奨学金(15万円(各10名以内))を授与します。

●北海道大学

新渡戸カレッジ大学院教育コース

オーナープログラム履修生を対象に選考の上、奨学金を支給します。
選考にあたっては、基礎プログラムの成績や応募書類の内容等から総合的に判断します。

●その他

日本学生支援機構の制度

最も一般的な奨学金を貸与する制度です。第一種奨学金(無利息)と第二種奨学金(利息付)があります。
※詳細は同機構のウェブサイトをご覧ください

ティーチング・アシスタント(TA)制度

TA制度は、広い意味の大学教育の一環として、よき大学教員・職業人となるための実地訓練(教育現場の体験)を目的として導入され、採用者には勤務実績に応じ、年間約7~10万円が給与として支給されております。

リサーチ・アシスタント(RA)制度

医学研究院で行われている研究プロジェクト等で、修士課程に在籍する学生に研究補助者として参加してもらい、研究体制を充実させるとともに、若手研究者の研究遂行能力の育成を図る制度です。入学後に優れた研究業績をあげた学生に対し、その業績に応じて採用します。採用者には勤務実績に応じ年間約50万円が給与として支給されております。